

## 住友理工グループ初の統合報告書 「アニュアルレポート 2014」発行

住友理工株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、住友理工グループとして初めての統合報告書「アニュアルレポート 2014」を発行しました。



「アニュアルレポート 2014」表紙と裏表紙

本レポートは、法的に開示義務のある財務情報と、経営戦略やCSRなどの非財務情報を統合し、会社情報として発信するもので、長期的な視点に基づく投資家を中心とした幅広いステークホルダーに対し、有益な情報を提供することを目的としています。当社では従来、CSRに関する取り組みや成果を「CSR報告書」としてまとめていましたが、今回、このCSR報告書に加え、会社案内パンフレットや、コーポレートサイト（英語版）掲載の財務情報を一つにし、本レポートにまとめました。編集方針として、国際統合報告評議会（IIRC）が昨年末に発表した最新の「国際統合報告フレームワーク」に準拠しています。

2014年10月1日付で社名変更を実施した目的や意義などを西村社長自らの言葉で語る「トップメッセージ」、「高分子材料技術」「総合評価技術」をコアコンピタンスとし、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指す「ビジネスモデル」、各事業・製品の紹介、各種取り組みやデータを伝える「社会・環境」、10年間の推移が一覧できる「財務データ」など幅広い情報を網羅しています。本レポートの作成につきましては、独立第三者保証に加え、第三者意見を頂戴し、社外からの提言を反映しながら信頼性と開示情報の質の向上に努めています。また、こうした情報を海外の皆様にも提供するため、10月下旬に英語版を、11月中旬には中国語版を順次発行する予定です。

当社は、「技術革新を基盤にお客様の要望に応え、優れた製品・サービスを提供します」などの「住友理工グループ経営理念」に基づき、今後もすべてのステークホルダーの皆様へ資する適切な情報を開示してまいります。

当社コーポレートサイト  
<http://www.sumitomoriko.co.jp/>

以上